



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002259533 A**

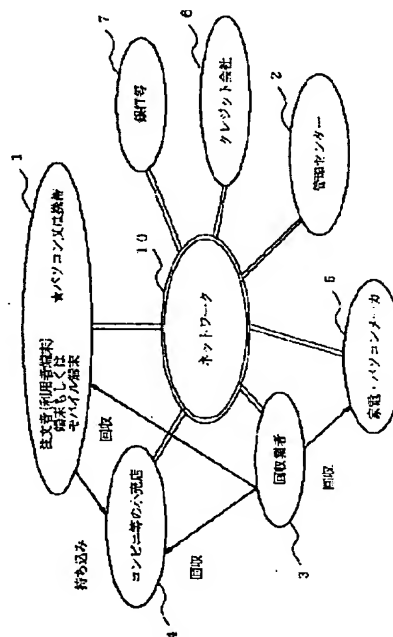
(43) Date of publication of application: 13.09.02

(51) Int. Cl.

G06F 17/60(21) Application number: **2001050471**(71) Applicant: **NEC FIELDING LTD**(22) Date of filing: **26.02.01**(72) Inventor: **ICHIKAWA MASAMICHI****(54) AUTOMATIC PICKUP SYSTEM OF WASTE PRODUCT****(57) Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow performing pickup for waste-disposal including home- electronic appliance large in size from personal residences also without any restrictions on pickup times and places for applicants by applying waste-pickup via the Internet.

SOLUTION: In an automatic system of waste product, a user terminal 1 applies the waste-disposal on a screen. A control center 2 controls the whole of the waste-disposal. A pickup agency 3 picks up wastes. A terminal at convenience store 4 is designated as a place for pickup. A manufacturer 5 agrees on a contract of delivery targets with the agency 3. A credit company 6 makes payment. A bank 7 makes cash payment. A network 10 connects the terminal 1, the center 2, the agency 3, the terminal 4, the manufacturer 5, the company 6 and the bank 7 through a communication network.



COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-259533

(P2002-259533A)

(43) 公開日 平成14年9月13日 (2002. 9. 13)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 2 4

Z A B

3 1 0

3 1 8

3 3 2

F I

G 0 6 F 17/60

テームコード* (参考)

1 2 4

Z A B

3 1 0 A

3 1 8 Z

3 3 2

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願2001-50471 (P2001-50471)

(22) 出願日

平成13年2月26日 (2001. 2. 26)

(71) 出願人 000232140

エヌイーシーフィールドディング株式会社
東京都港区三田1丁目4番28号

(72) 発明者 市川 正道

東京都港区三田一丁目4番28号 エヌイー
シーフィールドディング株式会社内

(74) 代理人 100082935

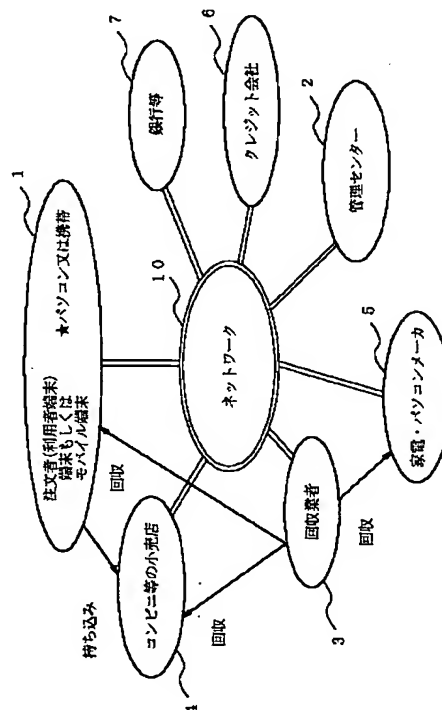
弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 廃品自動回収システム

(57) 【要約】

【課題】 廃品回収をインターネットを介して申し込むことで、申込者の引き取り時間と引き取り場所に対して何らの制限なしに、かつ大型の家電製品を含む廃品処理の自宅引き取りを可能とする。

【解決手段】 利用者端末1は画面上で廃品処理の申込みを行う。管理センター2は廃品処理全般の管理を行う。回収業者3は廃品の引き取りを行う。コンビニエンスストア端末4は引き取り場所として指定される。メーカ5は回収業者3と配送先を取り決める。クレジット会社6は決済を行う。銀行7は現金決済を行う。ネットワーク10は利用者端末1、管理センター2、回収業者3、コンビニエンスストア端末4、メーカ5、クレジット会社6および銀行7を通信接続する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 廃棄物品の回収をインターネット経由によりオンラインで申し込み、前記廃棄物品の引き取り場所、引き取り日時、料金の支払方法を決定し、予め契約、登録してある回収業者に通知してメーカー指定の場所まで回収することを特徴とする廃品自動回収システム。

【請求項2】 画面上で廃品処理の申込みを行う利用者端末と、前記廃品処理全般の管理を行う管理センターと、廃品の引き取りを行う回収業者と、引き取り場所として指定されるコンビニエンスストアと、前記回収業者と配送先を取り決めるメーカーと、決済を行うクレジット会社と、現金決済を行う銀行と、前記利用者端末、前記管理センター、前記回収業者、前記コンビニエンスストア、前記メーカー、前記クレジット会社及び前記銀行を通信接続するネットワークとであって、

前記管理センターは、前記利用者端末で選択し送出した回収製品情報と、回収依頼者の情報を示す回収依頼者情報と、引き取り場所を選択する回収地域情報とから回収場所、回収日時、回収製品名、回収料金、回収料金支払い方法、回収業者を含む注文者識別情報を生成して、前記ネットワークを介して前記利用者端末と前記回収業者の端末とに送出し、

前記回収業者は、前記ネットワークを介して前記管理センターから送られてきた前記注文者識別情報を自分の情報端末で受信し表示し、

前記コンビニエンスストアは、前記管理センターから前記ネットワークを介して送付されてくる前記回収依頼者の取り引き内容を一括表示した前記注文者識別情報を受け取り保持し、

前記コンビニエンスストアは、前記回収依頼者が前記利用者端末から申し込み、持ち込んだ回収製品を前記回収業者が引き取りにくるまで保管し、

前記コンビニエンスストアと前記回収業者の端末は依頼された製品の回収が完了すると、その旨の情報を前記管理センターに前記ネットワークを介して通知することを特徴とする廃品自動回収システム。

【請求項3】 前記管理センターは、一ヶ月毎に毎月の回収実績をメーカー別、製品別に集計し、前記製品の製造元である前記メーカーに前記ネットワークを介して通知することを特徴とする請求項2記載の廃品自動回収システム。

【請求項4】 前記管理センターは、メーカー別、地域別に回収する家電製品、パソコンの製品情報を前記利用者端末に提供できる情報処理装置であることを特徴とする請求項2記載の廃品自動回収システム。

【請求項5】 前記利用者端末は、廃棄する製品及び廃棄する製品の受け渡し場所となる自宅もしくは前記コンビニエンスストアの「指定情報」を、前記ネットワーク経由で前記管理センターに送信することを特徴とする請求項2、3又は4記載の廃品自動回収システム。

【請求項6】 前記利用者端末は、前記管理センターが前記ネットワーク上に提供しているメーカー別の「製品情報」を識別し、画面上に表示することを特徴とする請求項2、3又は4記載の廃品自動回収システム。

【請求項7】 前記利用者端末は、情報処理装置、携帯電話もしくはモバイル端末であることを特徴とする請求項2、3又は4記載の廃品自動回収システム。

【請求項8】 製品を廃棄処分したい回収依頼者は、利用者端末からインターネットを介して管理センターに申し込む廃品申込みステップと；前記利用者端末に、回収製品選択画面として各種製品情報が表示される製品表示ステップと；前記利用者端末により、廃棄したい製品を画面から選択する製品表示ステップと；前記回収依頼者は、回収製品選択画面の「本人情報」のボタンをクリックする本人情報指定ステップと；前記本人情報指定ステップでクリックすると、回収依頼者情報を入力する画面が表示され、本人の住所、氏名、電話番号、支払方法、引き取り場所・日時を入力する回収依頼者情報入力ステップと；支払がクレジットカードの場合はカードの番号を入力するカード入力ステップと；前記回収依頼者情報入力ステップで表示される画面から「引き取り場所」のボタンをクリックする引き取り場所指定ステップと；前記引き取り場所指定ステップでクリックすると、引き取り場所を選択する画面になり、地域欄の都道府県のいずれかを選択するとその地域の持ち込み可能な店舗名、連絡先、地図等の小売店情報が表示され、前記利用者端末から希望する小売店を選択する小売店選択ステップと；引き取り場所を「自宅」としている場合は、前記小売店選択ステップの画面で登録した本人住所が表示され間違いがないかどうかを確認の上、「注文」ボタンをクリックし、引き取り場所が自宅住所と異なる場合は、直接手入力する引き取り場所確認ステップと；前記引き取り場所確認ステップで、「注文」ボタンをクリックすることにより、前記回収依頼者の注文情報を前記管理センターに送信する注文情報送信ステップと；注文を受けた前記管理センターは、前記回収依頼者の注文内容を識別管理するために、回収製品情報、回収依頼者情報、引き取り場所情報から、注文者識別情報を自動生成し、前記回収業者、前記利用者端末及び前記コンビニエンスストアに前記ネットワークを介して配信する注文者識別情報配信ステップと；前記回収業者は指定された日時で引き取りが可能であるかどうかを確認し、指定された日時で引き取りができれば前記ネットワーク及び前記利用者端末を介して前記回収依頼者と個別に調整し、引き取り日時を再決定する日時指定ステップと；再決定された日時は前記利用者端末もしくは前記コンビニエンスストアに再通知する再通知ステップと；前記コンビニエンスストアにより持ち込まれた製品を前記注文者識別情報と照合比較し、一致した場合代金と引き替えに前記回収業者が引き取りに来るまでの間保管する保管ステップと；前記

回収業者は、回収製品を引き取り、各メーカーとの間で予め決められている配送先に持ち込む配送ステップと；前記コンビニエンスストアと前記回収業者とは回収完了処理を実施し、前記ネットワークを介して前記管理センターに通知し、一連の処理を完了する廃品完了ステップと；を備えたことを特徴とする廃品自動回収方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は廃品自動回収システムに関し、特に廃棄される家電製品並びにパソコン等の回収をインターネット経由によりオンラインで申し込み、指定の場所で回収する廃品自動回収システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、地球環境を守る意識が製造業者である企業や消費者とともに向上しており、このため不法投棄をなくして廃品を確実に回収することで、回収した廃品を中古品として再利用し、あるいは部品や材料を再生使用すると云うリサイクルが社会的にも重要になりつつある。

【0003】一方、従来は使用不能もしくは不必要になった物品は殆んどゴミとして廃棄されているが、環境問題に対する関心の高まりとともに廃棄品に含まれる有害物質が大きな問題としてクローズアップされつつある。

【0004】こうした社会的情勢を受けて物品回収の必要性が叫ばれ、回収できる物品を消費者がメーカーに返送し、取扱店で回収すると云う動きが現れている。これに応じてメーカー側の責任も大きく問われるので、メーカー側でも物品中に含まれる有害物質を減らすとともに、一部では物品の無料回収が行われるようになってきている。

【0005】また従来、家電機器のような製品が故障した場合、製造メーカーのサービス窓口へ直接電話するか、修理業者又は購入店に連絡するか、或いは修理又は新規購入するかを判断しており、仮に廃品処理する場合にはその廃棄手順の複雑さにより不法投棄するまでもなく、一般には面倒さが伴う場合が多い。

【0006】より簡便な方法で、大型の廃棄物を含めて回収業者により廃品を自宅迄引き取りにきてくれることが一般消費者に望まれている。

【0007】このような廃品回収技術の一例として、例えば特開平11-70378号公報記載の「廃品回収情報処理システム」が知られている。

【0008】この公報では、家電機器の廃品回収の情報を集中管理し、回収した機器を有効利用するための情報、また機器の回収状況を把握するための情報を処理する技術が記載されている。機器が故障したり老朽化等で廃品処理したりする場合、電話回線により接続された情報集計装置に、機器の機種番号や使用状況を通報することで故障通報や廃品処理通報を行うシステムが構成されている。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の廃品自動回収システムは、引き取り先を廃品依頼者が自由に選択できないこと、自宅引き取りが必ずしも行えず常に引き取り日時と引き取り場所が制限され、かつ大型の家電製品の廃棄品処理が複雑なので、消費者にとって不便であるという欠点を有している。

【0010】また、メーカー側も回収業務を他に委託しなければならず、回収にかかるコストが膨大になるという欠点を有している。

【0011】本発明の目的は、インターネットを介して廃品回収を申し込むことで、申込者の引き取り時間と引き取り場所に対して何らの制限なしに、かつ大型の家電製品を含む廃品処理の自宅引き取りが可能となる廃品自動回収システムを提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明の廃品自動回収システムは、廃棄物品の回収をインターネット経由によりオンラインで申し込み、前記廃棄物品の引き取り場所、引き取り日時、料金の支払方法を決定し、予め契約、登録してある回収業者に通知してメーカー指定の場所まで回収することを特徴としている。

【0013】画面上で廃品処理の申込みを行う利用者端末と、前記廃品処理全般の管理を行う管理センターと、廃品の引き取りを行う回収業者と、引き取り場所として指定されるコンビニエンスストアと、前記回収業者と配送先を取り決めるメーカーと、決済を行うクレジット会社と、現金決済を行う銀行と、前記利用者端末、前記管理センター、前記回収業者、前記コンビニエンスストア、前記メーカー、前記クレジット会社及び前記銀行を通信接続するネットワークとであって、前記管理センターは、前記利用者端末で選択し送出した回収製品情報と、回収依頼者の情報を示す回収依頼者情報と、引き取り場所を選択する回収地域情報とから回収場所、回収日時、回収製品名、回収料金、回収料金支払い方法、回収業者を含む注文者識別情報を生成して、前記ネットワークを介して前記利用者端末と前記回収業者の端末とに送出し、前記回収業者は、前記ネットワークを介して前記管理センターから送られてきた前記注文者識別情報を自分の情報端末で受信し表示し、前記コンビニエンスストアは、前記管理センターから前記ネットワークを介して送付されてくる前記回収依頼者の取り引き内容を一括表示した前記注文者識別情報を受け取り保持し、前記コンビニエンスストアは、前記回収依頼者が前記利用者端末から申し込み、持ち込んだ回収製品を前記回収業者が引き取りにくるまで保管し、前記コンビニエンスストアと前記回収業者の端末は依頼された製品の回収が完了すると、その旨の情報を前記管理センターに前記ネットワークを介して通知することを特徴としている。

【0014】前記管理センターは、一ヶ月毎に毎月の回

収実績をメーカー別、製品別に集計し、前記製品の製造元である前記メーカーに前記ネットワークを介して通知することを特徴としている。

【0015】前記管理センターは、メーカー別、地域別に回収する家電製品、パソコンの製品情報を前記利用者端末に提供できる情報処理装置であることを特徴としている。

【0016】前記利用者端末は、廃棄する製品及び廃棄する製品の受け渡し場所となる自宅もしくは前記コンビニエンスストアの「指定情報」を、前記ネットワーク経由で前記管理センターに送信することを特徴としている。

【0017】前記利用者端末は、前記管理センターが前記ネットワーク上に提供しているメーカー別の「製品情報」を識別し、画面上に表示することを特徴としている。

【0018】また、前記利用者端末は、情報処理装置、携帯電話もしくはモバイル端末であることを特徴としている。

【0019】製品を廃棄処分したい回収依頼者は、利用者端末からインターネットを介して管理センターに申し込む廃品申込みステップと；前記利用者端末は、回収製品選択画面として各種製品情報が表示される製品表示ステップと；前記利用者端末により廃棄したい製品を画面から選択する製品表示ステップと；前記回収依頼者は、回収製品選択画面の「本人情報」のボタンをクリックする本人情報指定ステップと；前記本人情報指定ステップでクリックすると、回収依頼者情報を入力する画面が表示され、本人の住所、氏名、電話番号、支払方法、引き取り場所・日時を入力する回収依頼者情報入力ステップと；支払がクレジットカードの場合はカードの番号を入力するカード入力ステップと；前記回収依頼者情報入力ステップで表示される画面から「引き取り場所」のボタンをクリックする引き取り場所指定ステップと；前記引き取り場所指定ステップでクリックすると、引き取り場所を選択する画面になり、地域欄の都道府県のいずれかを選択するとその地域の持ち込み可能な店舗名、連絡先、地図等の小売店情報が表示され、前記利用者端末から希望する小売店を選択する小売店選択ステップと；引き取り場所を「自宅」としている場合は、前記小売店選択ステップの画面で登録した本人住所が表示され間違いがないかどうかを確認の上、「注文」ボタンをクリックし、引き取り場所が自宅住所と異なる場合は、直接手入力する引き取り場所確認ステップと；前記引き取り場所確認ステップで、「注文」ボタンをクリックすることにより、前記回収依頼者の注文情報を前記管理センターに送信する注文情報送信ステップと；注文を受けた前記管理センターは、前記回収依頼者の注文内容を識別管理するために、回収製品情報、回収依頼者情報、引き取り場所情報から、注文者識別情報を自動生成し、前記回収業

者、前記利用者端末及び前記コンビニエンスストアに前記ネットワークを介して配信する注文者識別情報配信ステップと；前記回収業者は指定された日時で引き取りが可能であるかどうかを確認し、指定された日時で引き取りができなければ前記ネットワーク及び前記利用者端末を介して前記回収依頼者と個別に調整し、引き取り日時を再決定する日時指定ステップと；再決定された日時は前記利用者端末もしくは前記コンビニエンスストアに再通知する再通知ステップと；前記コンビニエンスストアにより持ち込まれた製品を前記注文者識別情報と照合比較し、一致した場合代金と引き替えに前記回収業者が引き取りに来るまでの間保管する保管ステップと；前記回収業者は、回収製品を引き取り、各メーカーとの間で予め決められている配送先に持ち込む配送ステップと；前記コンビニエンスストアと前記回収業者とは回収完了処理を実施し、前記ネットワークを介して前記管理センターに通知し、一連の処理を完了する廃品完了ステップと；を備えた廃品自動回収の方法を特徴としている。

【0020】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0021】図1は本発明の廃品自動回収システムの一つの実施の形態を示すブロック図である。

【0022】図1に示す本実施の形態は、画面上で廃品処理の申込みを行う利用者端末1と、廃品処理全般の管理を行う管理センター2と、廃品の引き取りを行う回収業者3と、引き取り場所として指定されるコンビニエンスストア端末4と、回収業者3と配送先を取り決めるメーカー5と、決済を行うクレジット会社6と、現金決済を行う銀行7と、利用者端末1、管理センター2、回収業者3、コンビニエンスストア端末4、メーカー5、クレジット会社6および銀行7を通信接続するネットワーク10とから構成されている。

【0023】ここで、利用者端末1はパソコン等の情報処理装置または携帯電話もしくはモバイル端末である。

【0024】利用者端末1は管理センター2がネットワーク10上に提供しているメーカー別「製品情報」を識別し、画面上に表示する。なお、製品情報とは家電製品、パソコン等の名称、型番、回収手数料等である。利用者端末1は廃棄する製品および廃棄する製品の受け渡し場所となる自宅もしくはコンビニエンスストア等の「指定情報」を、ネットワーク10経由で管理センター2に送信する。

【0025】管理センター2は、メーカー別、地域別に回収する家電製品、パソコン等の製品情報を利用者端末1に提供できる情報処理装置等で構成される。

【0026】図2は回収製品を選択する画面表示例を示す図である。

【0027】図2を参照すると、製品の名称、型番、メーカー名、回収手数料が、例えばパソコンの機種別に表示

されるので、回収希望のパソコンのチェック欄にチェックすることで申し込みが行える。

【0028】図3は回収依頼者が情報入力する画面表示例を示す図である。

【0029】図3を参照すると、回収依頼者が住所、氏名、電話番号、支払方法、引き取り場所、引き取り希望日時を入力することで、回収依頼者の情報が確定する。

【0030】図4は引き取り場所を選択する画面表示例を示す図である。

【0031】図4を参照すると、引き取り場所を直接入力するか或いは最寄りのコンビニエンスストアの店舗を選択することで引き取り場所を指定する。

【0032】図5は注文者識別情報を示す図である。

【0033】図5を参照すると、管理センター2が回収依頼者である注文者との取り引き内容を一括表示したものである。

【0034】次に図1～図5を参照して動作を説明する。

【0035】管理センター2は、利用者端末1が選択し送出した回収製品情報(図2)と、依頼者の情報を示す回収依頼者情報(図3)と、引き取り場所を選択する回収地域情報(図4)とから回収場所、回収日時、回収製品名、回収料金、回収料金支払い方法、回収業者等の注文者識別情報を生成して、ネットワーク10を介して利用者端末1と回収業者3の端末とに送出する。ここで注文者とは回収依頼者である。

【0036】回収業者3はネットワーク10を介して管理センター2から送られてきた注文者識別情報を自分の情報端末で受信し表示する。

【0037】24時間営業の小売店であるコンビニエンスストア端末4は、管理センター2からネットワーク10を介して送付されてくる注文者の取り引き内容を一括表示した注文者識別情報を受け取り保持する。

【0038】コンビニエンスストア端末4が設置された小売店は、注文者が利用者端末1から申し込み、持ち込んだ回収製品を回収業者3が引き取りにくるまで保管する。

【0039】コンビニエンスストア端末4と回収業者3の端末は依頼された製品の回収が完了すると、その旨の情報を管理センター2にネットワーク10を介して通知する。

【0040】管理センター2は一ヶ月毎に毎月の回収実績をメーカー別、製品別に集計して家電、パソコン等のメーカー5にネットワーク10を介して通知する。

【0041】図6は本発明の廃品自動回収システムの動作を示すフローチャートである。

【0042】次に、図1、図2、図3、図4、図5および図6を参照して本実施の形態の動作をより詳細に説明する。

【0043】家電製品又はパソコン等を廃棄処分したい

回収依頼者は、利用者端末1からインターネット10を介して管理センター2に申し込む(ステップ1:S1)。

【0044】利用者端末1に、回収製品選択画面として図2に示す各種製品情報が表示される(ステップ2:S2)。

【0045】利用者端末1により廃棄したい製品を画面から選択する(ステップ3:S3)。

【0046】次に回収依頼する注文者は回収製品選択画面の「本人情報」のボタンをクリックする(ステップ4:S4)。

【0047】クリックすると図3に示す回収依頼者情報を入力する画面が表示されるので、本人の住所、氏名、電話番号、支払方法、引き取り場所・日時等を入力する(ステップ5:S5)。支払がクレジットカードの場合はカードの番号を入力する(ステップ6:S6)。

【0048】次に図3の画面から「引き取り場所」のボタンをクリックする(ステップ7:S7)。クリックすると図4に示す引き取り場所を選択する画面になり、地域欄の都道府県のいずれかを選択するとその地域の持ち込み可能な店舗名、連絡先、地図等の小売店情報が表示される。利用者端末1から、希望する小売店を選択する(ステップ8:S8)。

【0049】引き取り場所を「自宅」としている場合は、図4の画面で登録した本人住所が表示されるので間違いがないかどうかを確認の上、「注文」ボタンをクリックする。引き取り場所が自宅住所と異なる場合は、ここで直接手入力する(ステップ9:S9)。

【0050】「注文」ボタンをクリックすることにより、回収依頼者の注文情報を管理センター2に送信する(ステップ10:S10)。

【0051】注文を受けた管理センター2は注文者と注文内容を識別管理するために、回収製品情報、回収依頼者情報、引き取り場所情報から、図5の注文者識別情報を自動生成し、回収業者3と利用者端末1又は小売店のコンビニエンスストア端末4にネットワーク10を介して配信する(ステップ11:S11)。

【0052】回収業者3は指定された日時で引き取りが可能であるかどうかを確認し、指定された日時で引き取りができなければネットワーク10、利用者端末1を介して回収依頼した注文者と個別に調整し、引き取り日時を再決定する。

【0053】なお、引き取り場所が24H営業のコンビニエンスストアを利用する場合は、引き取り日時の調整は不要である(ステップ12:S12)。

【0054】再決定された日時は利用者端末1もしくはコンビニエンスストア端末4に再通知する(ステップ13:S13)。

【0055】コンビニエンスストア端末4により持ち込まれた製品を注文者識別情報と照合比較し、一致した場

合代金と引き替えに回収業者3が引き取りに来るまでの間保管する(ステップ14:S14)。

【0056】回収業者3は回収製品を引き取り(自宅回収で現金支払いの場合は現金と引き替えに)、各メーカーとの間で予め決められている配送先に持ち込む(ステップ15:S15)。

【0057】コンビニエンスストア端末4と回収業者3の端末とは回収完了処理を実施し、ネットワーク10を介して管理センター2に通知して、一連の処理を完了する(ステップ16:S16)。

【0058】上述の通り、廃棄される家電製品並びにパソコン等の回収を、インターネットを通してオンライン上で申し込み、廃棄品の引き取り場所、引き取り日時、料金の支払方法等を決定し、予め契約・登録してある回収業者に通知してメーカー指定の場所まで回収するシステムである。

【0059】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の廃品自動回収システムは、インターネットによりオンライン処理ができるので、廃棄品の引き取り手続きがネットワークを介して24時間いつでもできるという効果を有している。

【0060】また引き取り先を注文者が選択できることにより、自宅引き取りが可能となり大型の家電製品等の廃棄品処理が簡略化されるという効果を有している。

【0061】さらに24時間営業のコンビニ等を引き取り場所を選択することでいつでも廃棄品処理が可能とな

るので、廃棄物の不法投棄も減少し回収資源の再利用が促進されるという効果を有している。

【0062】さらにまた、メーカーも回収業務を他に委託する場合の回収にかかるコストを削減できるという効果を有している。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の廃品自動回収システムの一つの実施の形態を示すシステムブロック図である。

【図2】回収製品を選択する画面表示例を示す図である。

【図3】回収依頼者が情報入力する画面表示例を示す図である。

【図4】引き取り場所を選択する画面表示例を示す図である。

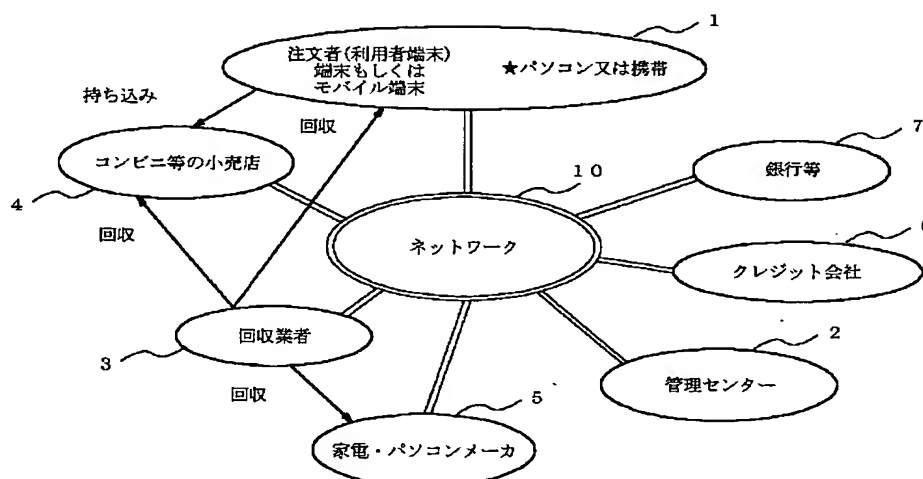
【図5】注文者識別情報を示す図である。

【図6】本発明の廃品自動回収システムの動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 利用者端末
- 2 管理センター
- 3 回収業者
- 4 コンビニエンスストア端末
- 5 メーカー
- 6 クレジット会社
- 7 銀行
- 10 ネットワーク

【図1】



【図2】

回収製品選択画面				
製品の名称	型番	メーカー名	回収手数料	チェック
パソコン	p c - v 2 6	NEC	4, 0 0 0 円	<input type="checkbox"/>
パソコン				<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
その他()				<input type="checkbox"/>

本人情報

【図5】

注文者識別情報	
注文者氏名	電話番号
注文者住所	引取先日時
引取先店舗名	引き取り製品名
引取先住所	引き取り手数料
支払方法	回収業者名

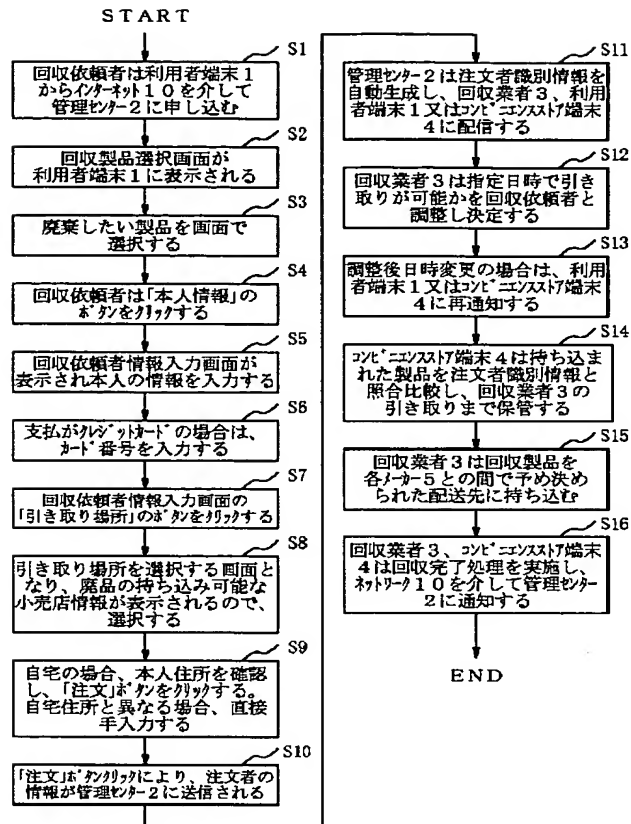
【図3】

回収依頼者情報入力画面			
本人氏名	住所	電話番号	引き取り場所
支払方法	<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> クレジットカード	<input type="checkbox"/> その他
	カード会社 ()	カード番号 ()	
引き取り場所	<input type="checkbox"/> 自宅	<input type="checkbox"/> コンビニ等小売店	<input type="checkbox"/> その他
引き取り希望日時	(月 日 時 分頃)		

【図4】

引き取り場所選択画面				
自宅引き取りで引取先と自宅住所が異なる場合は下記に直接入力して下さい。				
引き取り場所	県	市	区、郡	
	町	番地		
下記より地域を選択して下さい。下記表の中から最寄りの店舗を選択し確認ボタンを押して下さい。必要に応じて地図を参照願います。				
地域	店舗名	住 所	電話番号	地図検索
北海道	A b c			
青森	B b c			
新潟	C b c			
秋田	D b c			
	E b c			
沖縄				
次の10件表示				確認
以上の通り廃棄品の引き取りを注文いたします。				
注文ボタンをクリックして下さい				注文

【図 6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 3 6

5 0 2

F I

G 0 6 F 17/60

ターマコード (参考)

3 3 6

5 0 2